保　証　書　出張修理

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼ください。
※お買い上げ日・お客様・販売店の欄に記載のない場合は無効になりますから必ずご記入ください。

形名 SCS-J500D	製造番号	※お客様	お名前
※お買い上げ日　平成　年　月　日			ご住所　〒
保証期間　お買い上げ日より１年			電話　（　）
※販売店	住所・店名 電話　（　）	ジャニス工業株式会社 〒479-8577　愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地 TEL.（0569）35-3151	

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
※印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、運送等による故障および損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧による故障および損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）にご使用の場合の故障および損傷。
   （ト）ご使用による容器の汚れ。
   （チ）消耗部品の交換
2. 出張修理を行なった場合には出張に要する実費を申し受けることがあります。
3. 修理のために取りはずした部品は特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、ジャニス工業㈱お客様相談係にご相談ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

修理年月日	損傷と処置	サービス担当者

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

お問い合わせ

●アフターサービスのお問い合わせ（修理受付専用フリーダイヤル）

0120-117-817　受付時間／9:00～18:00　定休日／土、日、祝日

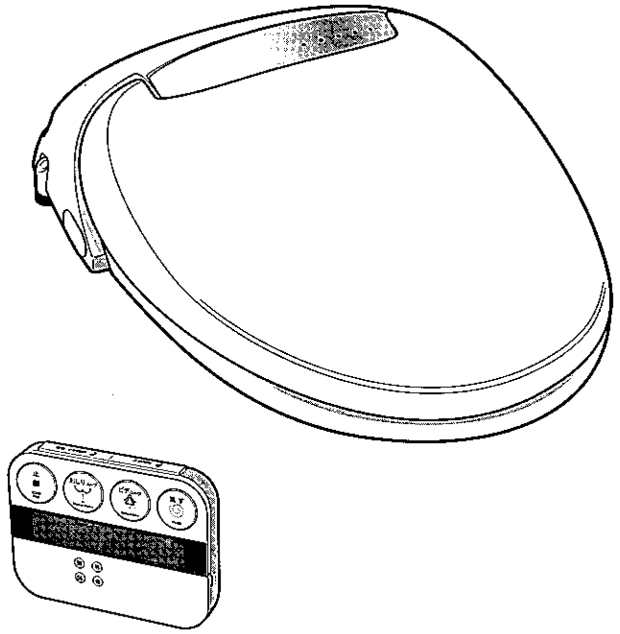
ジャニス工業株式会社
本　社：〒479-8577　愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地　TEL（0569）35-3151
FAX（0569）34-6634

090401-01

取扱説明書（保証書付）

Janis
温水洗浄便座
SawaLet
サ　ワ　レ　ッ　ト

形　名
SCS-J500D



本温水洗浄便座を使用していただく場合は、電動便器洗浄ユニットが必要です。

保証書付

保証書はこの取扱説明書の40ページについていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。
●このたびは当社温水洗浄便座をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
●この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
●お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

ご使用前に
安全上のご注意　2～4
お願い　5
各部のなまえ　6～8
付属品　8

取り付けかた
取り付け前の確認　9
取り付けかた　10～15
リモコンの準備と取り付けかた　16～18
連立トイレに取り付けるかたへ　19

使いかた
使いかた　20～27
本体パネルの表示について　28
本体操作部の使いかた　29

お手入れ・アフターサービス
お手入れのしかた　30～33
凍結防止・長期間使わないときの処置のしかた　34～35
異常報知について　35
故障かなと思ったら　36～37
仕様　38
保証とアフターサービス　39
保証書　40

安全上のご注意 必ずお守りください

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。

⚠注意 「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

＊1：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止　⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示　●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意　△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

⚠警告

気をつける
次のようなかたが使用されるときは、便座温度調節ボタンを「切」にして、周囲のかたが十分気をつける
お子様・お年寄り・皮膚感覚の弱いかた・ご自分で温度調節のできないかた・眠気を誘う薬（睡眠薬やかぜ薬など）を服用されたかた・深酒、疲労の激しいかたなど
低温やけどや事故の原因になります。

定格15A以上
電源は、交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使う
交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。

禁止
傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止
電源コードや洗浄ユニットコードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

分解禁止
分解・改造・修理をしない
火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買い上げの販売店またはジャニス工業㈱お客様相談係にご連絡ください。

差し込む
電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

⚠警告

アースを接続する
アース線を確実に取り付ける
アース線を取り付けないと漏電時に感電の原因になります。
次のようなところへのアース線接続は法令で禁止されています。
ガス管、電話線、避雷針、水栓など
アースの取り付け（D種接地工事）は、電気工事店または販売店にご相談ください。

プラグを抜く
お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。

上水道を使用する
給水は上水道を使用する
中水道や工業用水の水道に接続すると、ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。

ふき取る
電源プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付いているときは、乾いた布でふき取る
火災の原因になります。

スイッチを「切」にする
ノズル掃除をするときは、自動フタ開閉・洗浄スイッチを「切」にする
けがをしたり、製品破損の原因になります。

プラグを抜く
異常な状態で使い続けない
次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止める
・配管や本体から漏水する　・異音・異臭がする
・本体が異常に熱い　・本体から発煙
・本体にひびや割れが入っている
異常な状態で使い続けると、火災・感電・水もれの原因になります。修理はお買い上げの販売店またはジャニス工業（株）お客様相談係にご連絡ください。

水を抜く
長期間ご使用にならないときは、電源プラグを抜いたあと、熱交換器の水を抜く
発火や水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になります。

禁止
浴室など湿気の多い場所には設置しない
感電・漏電・火災の原因になります。

禁止
本体や電源プラグ部や洗浄ユニットコードに汚水や水をかけない
火災・感電の原因になります。

禁止
ぬれた手で電源プラグ部や洗浄ユニットコードを抜き差ししない
感電の原因になります。

禁止
便座ふたおよび便座のつけねのヒンジ部に指や異物を入れない
はさまれによるけが・破損の原因になります。
お掃除するときは、電源プラグをコンセントから抜くか自動フタ開閉・洗浄スイッチを切にしてから行ってください。

手を触れない
便座ふたの開閉中に便座ふたや便座ふたの付け根の部分に触れないこと
けがをしたり、製品破損の原因になります。

（つづく）

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

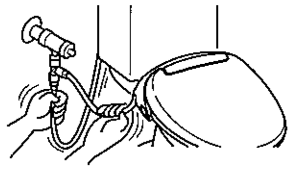
トイレ暖房用ストーブ・ヒーターやたばこなどの火気類を近づけない（禁止）
火災・変色・故障の原因になります。

取扱説明書に記載された用途以外で使わない（禁止）
火災・感電・けがの原因になります。

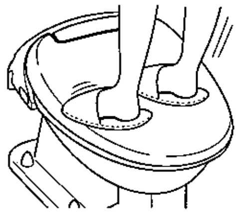
便座ふたに寄りかからない（禁止）
便座ふたが割れて転倒したり、けがの原因になります。

脱臭カセット挿入口から、脱臭カセット以外のものを入れない（禁止）
指などを入れると、挿入口の奥の脱臭ファンで、けがをする原因になります。

本体給水ホース・タンク給水ホースを無理に引っ張ったり、力を加えない（禁止）
破損して、水もれの原因になります。



便座や便座ふたの上に乗ったり、強い衝撃を与えない（禁止）
変形・破損によりけがの原因になります。



酸性やアルカリ性のトイレ用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどを洗浄に使用しない（禁止）
プラスチック・金具を傷めます。

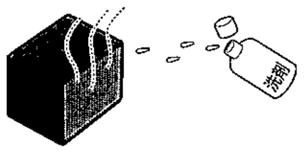
電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く（プラグを抜く）
感電・ショート・発火の原因になります。

開口部から指や物を入れない（禁止）
感電・故障の原因になります。

ストレーナをはずすときは、止水栓を閉める また、ストレーナを取り付けるときは、すき間がないようにしっかり付ける（閉める）
水もれの原因になります。
（ストレーナのお手入れについてはP31を参照）

直射日光に当てない（禁止）
樹脂部が変色・劣化する原因になります。

脱臭フィルターには、洗剤や水をかけない（禁止）
洗剤をかけると塩素系ガスが発生し、気分が悪くなることがあります。
万一、洗剤や水がかかったときは、すぐ換気をしてください。



凍結のおそれのある地域では、暖房するなどして、周囲の温度が氷点下にならないようにする（暖房する）
凍結すると給水管などの配管が破損し、水もれの原因になります。凍結のおそれがあるときは、熱交換器および本体給水ホースの水を抜いてください。

お願い

給水管の取りはずし、タンク給水ホースの取り付けのときに、ボールタップ接続ねじ部を回すとロータンクに水が入らなくなる場合があります。
ボールタップ接続ねじ部を回さないでください。

寒冷地用給水管・フラッシュバルブの配管工事は、専門的な工事が必要になります。
専門業者へご依頼ください。
使用しない給水管は保管しておいてください。

便座・便座ふたの開閉は乱暴に行わないでください。
割れたり、故障することがあります。

洗浄後、ノズル付近から水が出ますが、これは本体内部ホースの残水が出てくるもので、異常ではありません。
約2分後に止まります

長期間使用しないときは、万一の漏水や水の腐敗を防ぐため、止水栓を閉めて熱交換器の水抜きを行ってください。

不要となった脱臭フィルターは、回収を行っている市町村の指示にしたがって廃棄してください。

リモコンは、リモコン受光部に向けて信号の届く位置に設置してください。
壁の色や材質により、リモコンからの信号がリモコン受光部に届きにくい場合があります。

リモコンとリモコン受光部との間に、カーテンなど信号をさえぎるものがあると動作しないことがあります。

本体の汚れは水を含ませた布でふきとってください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を適量に薄め、布に含ませてふき洗いし、そのあと水ぶきして洗剤をふきとってください。
また、消毒などには、逆性石ケンを適量に薄め、布に含ませてふき洗いし、そのあと水ぶきして液をふきとってください。

脱臭を連続で使用した場合、約15分で自動停止します。
続けて使用する場合は、一度立ち上がって座り直してください。
脱臭機能は、便器内の脱臭を目的にしております。トイレ全体を脱臭することはできません。

水道圧が低いところでは、水勢調節を弱くすると、ノズルから洗浄水が出ないことがあります。
このような場合は、水勢の調節を「高」にしてください。

リモコンや本体操作部のボタンを必要以上に強く押さないでください。
故障の原因になります。

洗浄は2分以上連続使用すると、タイマーが働いて自動的に停止します。
さらにご使用になりたい時は再度ボタンを押してください。

男子小便時には、洗浄ノズルに小便がかからないようにしてください。
故障の原因になります。

ノズルなどに汚れ物を付けないようにしてください。
臭いが出たり、故障の原因になります。

直射日光、インバーター蛍光灯の光がリモコン受光部に当たる場合は、リモコンからの信号を受け付けないことがあります。

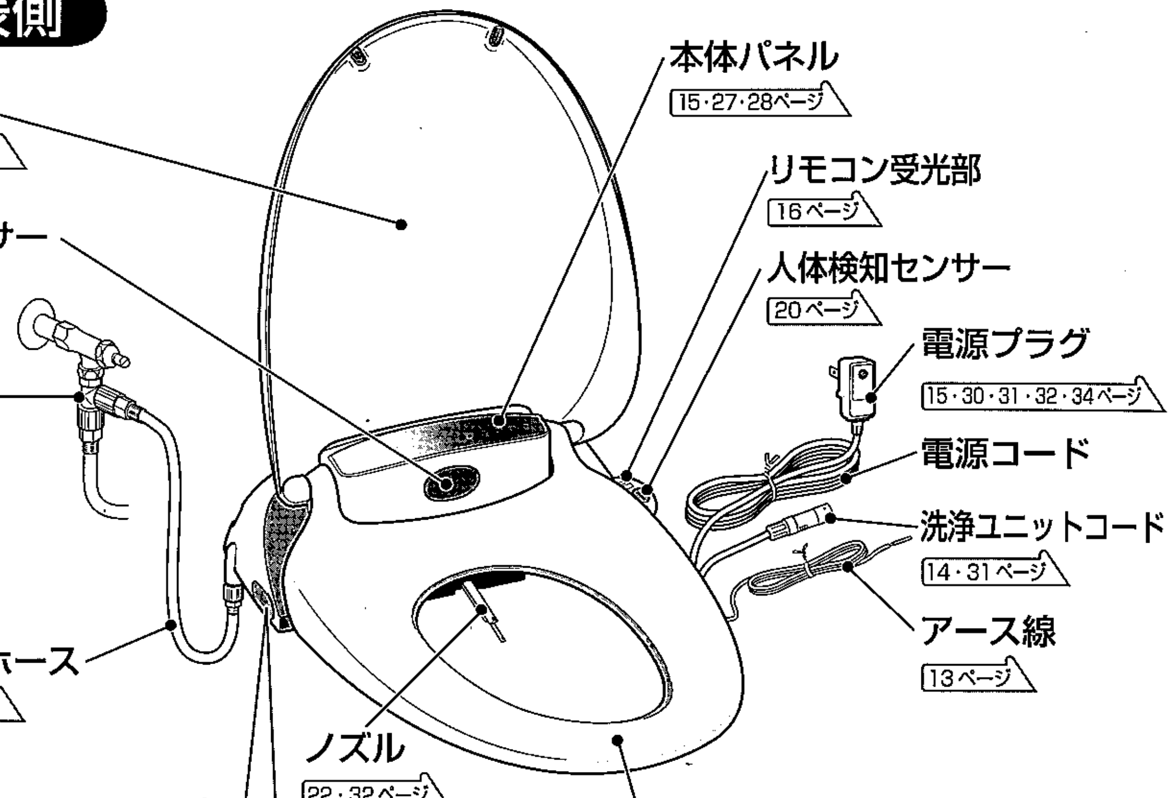
リモコンをストーブなどの近くに置いたり、落としたり、水をかけたりしないでください。リモコンを便器の中に落とさないでください。

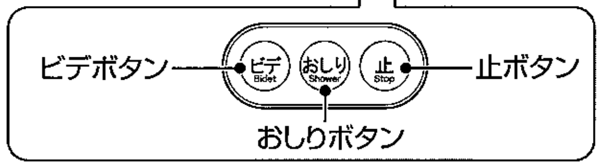
便座ふたにカバーなどを付けると、開閉動作に支障がでる場合があります。この場合はカバーをはずしてください。

各部のなまえ

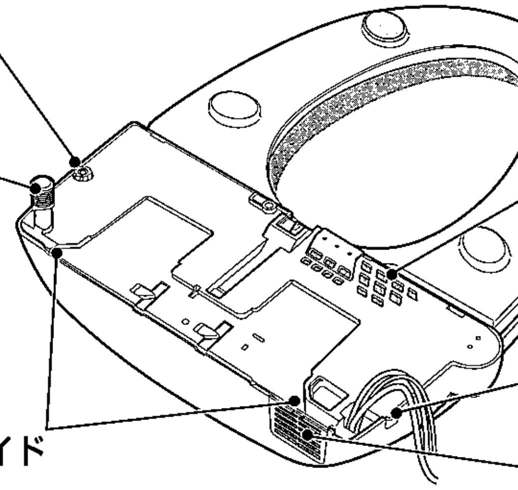
このマークの中の数字は、主な掲載ページを示しています。

本体表側

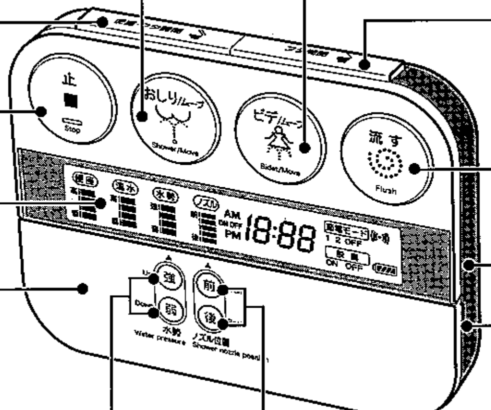




本体裏側

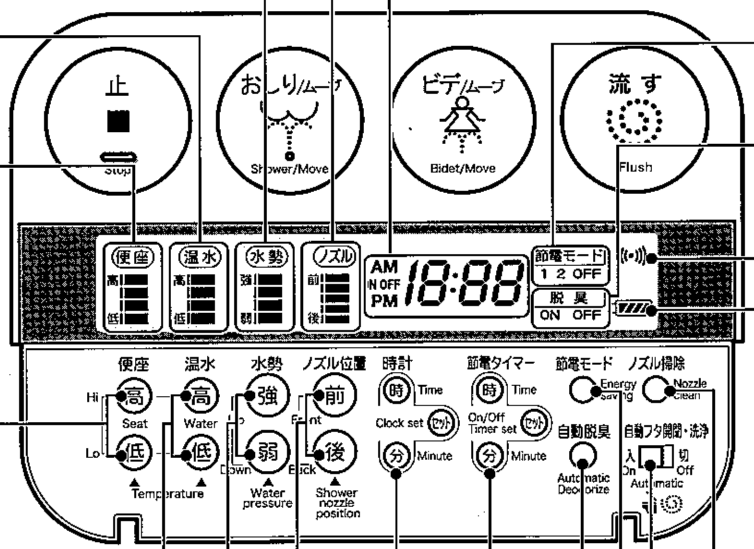


リモコン操作部



● リモコンのフタを開けた状態

※開けたときのフタは、省略しています。

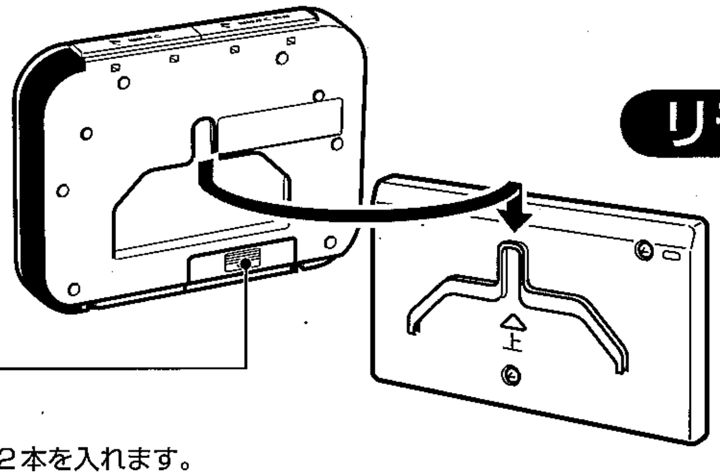


ご使用前に

（つづく）

リモコン背面

リモコンホルダー

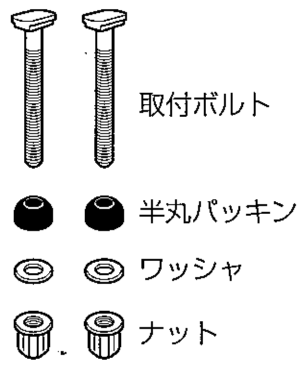


[17ページ]
17ページ
壁面に取り付け、リモコンをかけます。

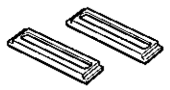
電池カバー
16ページ
付属の単３形乾電池２本を入れます。

付属品

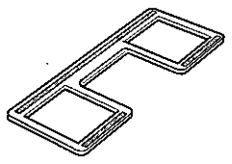
本体取り付け時に必要なもの



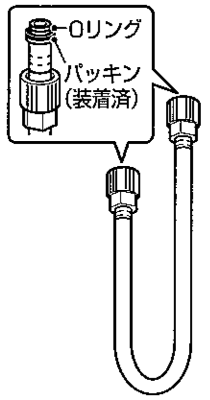
取付ボルトセット
１セット



取付プレート
２個

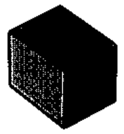


本体固定プレート
１枚



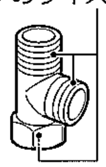
本体給水ホース
約１m／１本

パッキン
１個



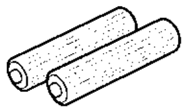
脱臭フィルター
１個
（消耗部品）
※本体に装着済

ネジのサイズ：G1/2

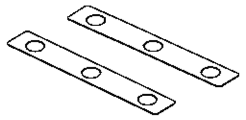


分岐金具
１個

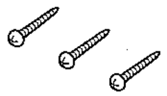
リモコン取り付け時に必要なもの



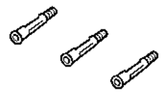
単３形乾電池
２本



両面テープ
２本



固定ねじ
３本



アンカープラグ
３本

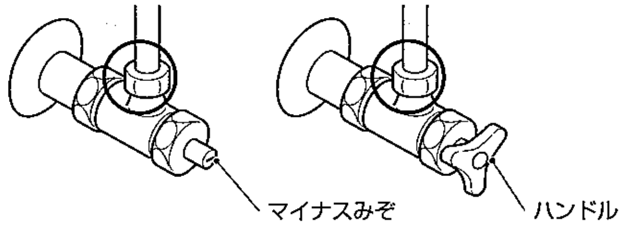
取り付け前の確認

止水栓の確認

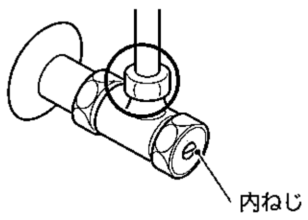
トイレの止水栓を確認してください。付属品以外に別売部品が必要な場合があります。
ご確認のうえ、お買い上げの販売店にご相談ください。

○部の分岐金具取付部のネジサイズが G1/2 であれば、付属品の分岐金具のみで取り付けが可能です。

■一般の止水栓



■内ねじ止水栓



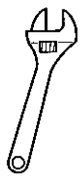
アース端子の確認

- アース端子があることを確認してください。
- アース端子がないときは、電気工事店または販売店にご相談ください。

取り付け作業に必要なもの

配管時に必要なもの

- モンキーレンチ
- マイナスドライバー

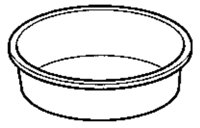


モンキーレンチ

マイナスドライバー

給水管を取りはずすときの残水処理に必要なもの

- 広口容器
- ぞうきん



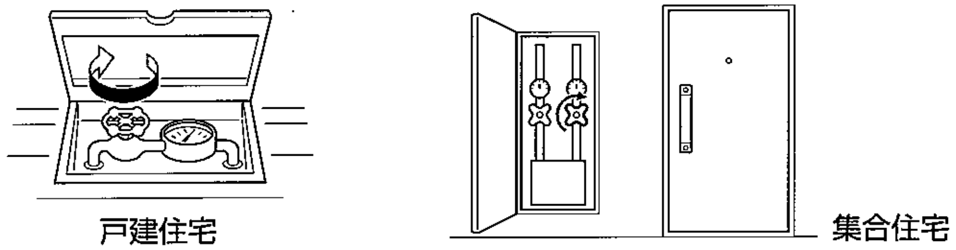
広口容器

ぞうきん

取り付けかた

1 水道の元栓を閉める

●水を使用中の器具がないことを確認し、水道の元栓を閉めます。



お願い

●元栓を閉めたら、近くの蛇口などで水が止まっていることを確認してください。

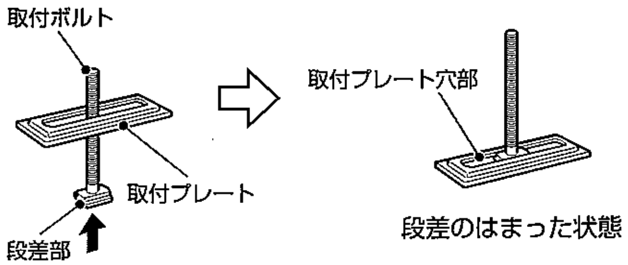
2 温水洗浄便座を取り付ける

1. 便座を裏返しておく

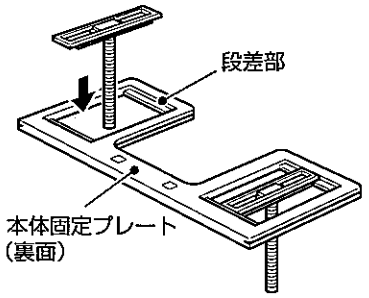
2. 取付プレートの穴部に取付ボルトを通す

● 取付ボルトにはまっている、半丸パッキン、ワッシャ、ナットをはずして、取付ボルトを取付プレートに通します。

● 取付ボルトの頭の段差部を取付プレートの穴部にはめ込みます。

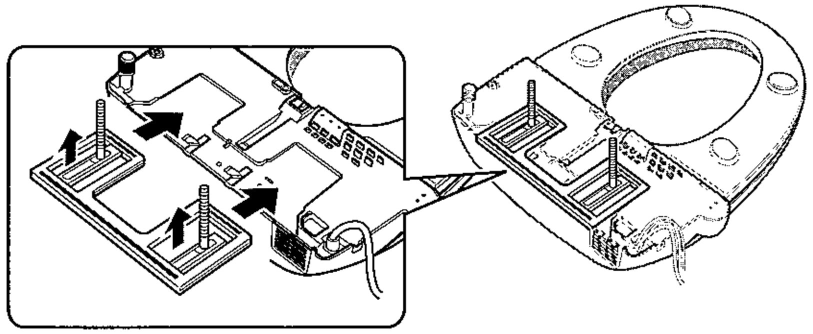


3. 本体固定プレートの裏面（ゴム板の付いてない面）を上に向け、取付プレートを本体固定プレートの段差部に入れる

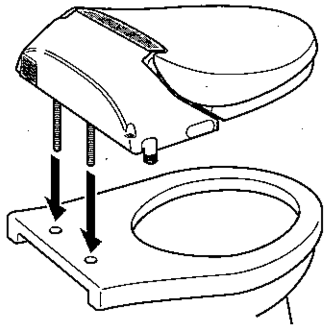


4. 取付プレートと取付ボルトが、はずれないように本体固定プレートを押さえながら上下反転させ、本体固定プレートガイドに差し込んで取り付ける

● 本体固定プレートの表面（ゴム板が付いている面）を上にして入れてください。



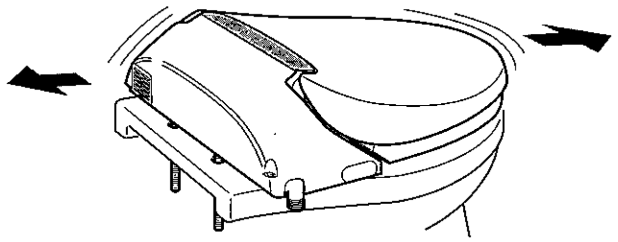
5. 便座の上下を戻して、取付ボルトを便器の取付穴に差し込む



6. 本体を前後に調整しながら、便座の位置を決める

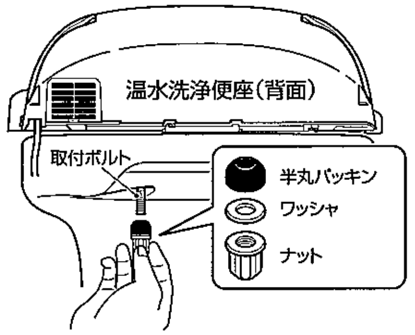
●便器の先端に、便座の先端を合わせるようにします。

●本体背面とロータンクの間は 1cm 以上あけるようにします。



7. 半丸パッキン、ワッシャ、ナットを手に持ち、落とさないように取付ボルトに差し込む

●パッキンの半丸側が便器側になっていることを確認してください。



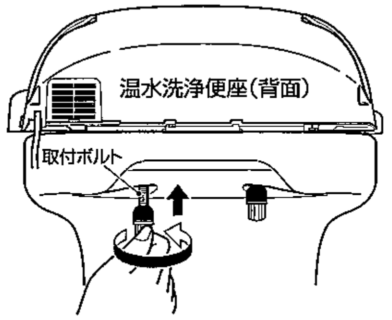
8. ナットを回して締め付ける

●本体を便器に取り付けたとき、上下左右に多少のガタツキが発生しますが異常ではありません。本体の着脱方式によるものです。

※最後はモンキーレンチなどで締め付けてください。（強く締めすぎると破損することがあります。）

お願い

●長年お使いになると、取付ボルトの締め付けがゆるんでくる場合があります。そのときは、ナットを締め付け直してください。



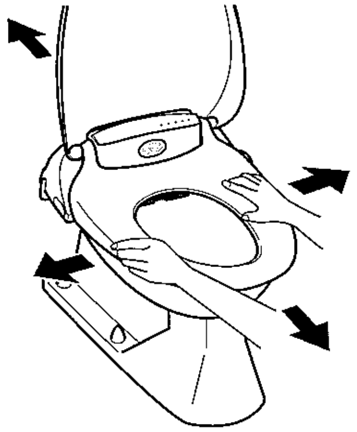
（つづく）

取り付けかた (つづき)

取り付けを確認する

以下の手順で便座の取り付けを確認してください。

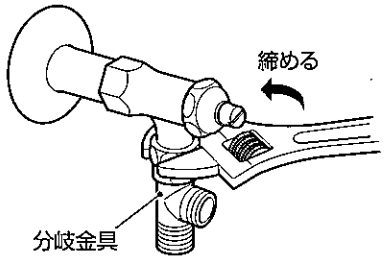
便座を前後左右に動かし、はずれないことを確認する



3 分岐金具を取り付ける

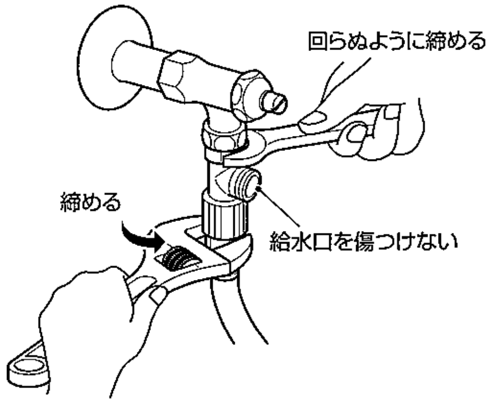
1. 分岐金具を取り付ける

①付属のパッキン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付ける。
②分岐金具の袋ナットは、はじめに手でいっぱいに締め付けてから工具で増締めする。
（締付トルク 75kgf・cm）
●止水栓に無理な力をかけないでください。
※破損して漏水する恐れがあります。



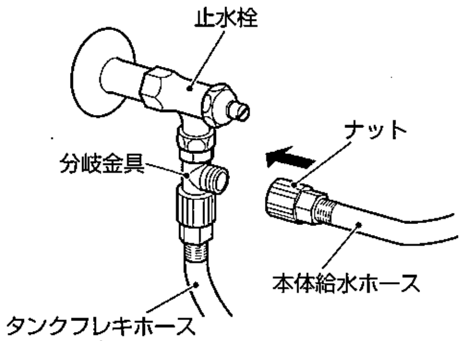
2. タンクフレキホースを取り付ける

①ストレーナを入れてタンクフレキホースを分岐金具に取り付ける。
②タンクフレキホースの袋ナットは、はじめに手でいっぱいに締め付けてから工具で増締めする。
（締付トルク 100 ～ 150kgf・cm）
③モンキーレンチなどで分岐金具が動かないように固定しながら、タンクフレキホースの袋ナットを締め付ける。
●止水栓に無理な力をかけないでください。
※破損して漏水する恐れがあります。



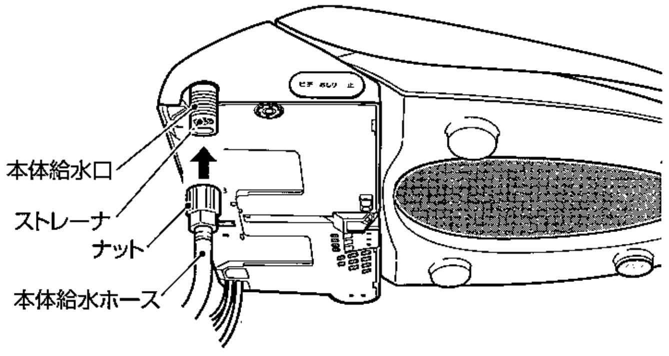
4 本体給水ホースを取り付ける

1. 止水栓側に本体給水ホースを取り付ける



①止水栓に接続されている分岐金具へ本体給水ホースのナットを手で回して取り付ける。
②モンキーレンチでナットを締め付ける。
（締付トルク 75kgf・cm）
※パッキンは本体給水ホースに内蔵されていますので別途入れる必要はありません。

2. 本体側に本体給水ホースを取り付ける



①本体給水口の奥にストレーナが付いていることを確認して、本体給水ホースのナットを手で回して本体に取り付ける。
②モンキーレンチでナットを締め付ける。このとき本体給水ホースがねじれないように手で押さえる。
※パッキンは本体給水ホースに内蔵されていますので別途入れる必要はありません。

5 アース線を取り付ける

●まだ電源プラグは差し込まないでください。
（電源プラグは水道の元栓と止水栓を開いてからコンセントに差し込みます。）

⚠警告

アースを接続する

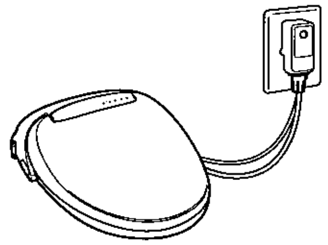
アース線を確実に取り付ける

アース線を取り付けないと漏電時に感電の原因になります。
次のようなところへのアース線接続は法令で禁止されています。ガス管、電話線、避雷針、水栓など
アースの取り付け（D種接地工事）は、電気工事店または販売店にご相談ください。

■アース線を取り付けてください。

●アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
●設置場所の変更や転居のときには、アースの取り付けをしてください。

アース端子がある	アース端子がない
●アース線をアース端子に確実に接続してください。	●アース工事をしてください。 ●電気工事店または販売店にご相談ください。



（つづく）

取り付けかた (つづき)

6 配管接続部などに水もれがないか点検する

1. 付属のパッキンにあまりがないか確認する

- あまりがあるときは、パッキンを付けてない接続部をはずし、パッキンを取り付けてください。

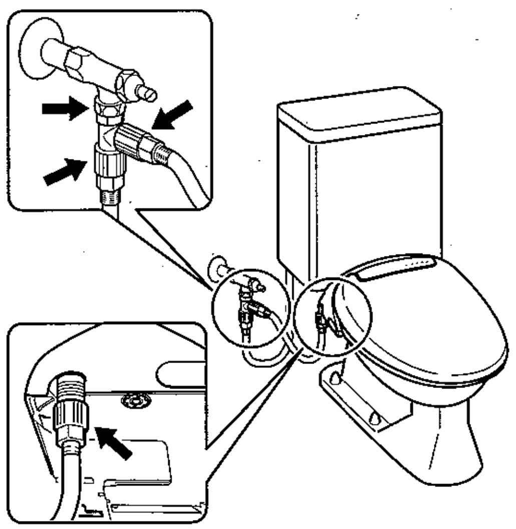
2. 給水する前に、各接続部のゆるみがないか確認する

- ゆるみがあるときは、モンキーレンチなどでしっかり締めてください。

3. 水道の元栓を開く

4. 止水栓を開いて、配管接続部に水もれがないか確認する

- 時間の経過とともに水もれする場合がありますので、据付工事後、数日間は広口容器を設置しておいてください。



水もれがあった場合

1. 水道の元栓と止水栓を閉める

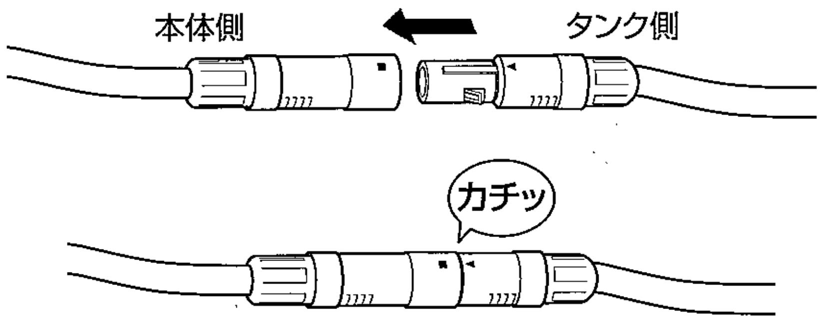
2. 水もれのあった接続部をはずし、再度取り付ける

お願い

- どうしても水もれが直らないときは、水道の元栓を閉めた後、水道工事店にご連絡ください。

7 洗浄ユニットコードを接続する

- 洗浄ユニットコードのコネクタの▲マークを本体側コードのコネクタの■マークに位置を合わせて、「カチッ」というまで差し込みます。



動作の確認

以下の手順で動作を確認してください。

1. コンセントに電源プラグを根元まで差し込む

- 電源プラグの「漏電表示」ランプが消灯していることを確認してください。
  「漏電表示」ランプが点灯しているときは、「入（リセット)」ボタンを押すと「漏電表示」ランプは消灯します。
- ノズルが 1 回伸縮し、その間本体パネルの全ランプが点滅し続けます。(初期動作)
- 初期動作後、本体パネルの「電源」ランプと「脱臭」ランプと「便座」ランプが点灯します。(電源プラグを差し込むと「脱臭」が設定されます)
- 便座ふたと便座が開いている場合は、自動で閉じます。
- 便器洗浄ユニットが 1 回動作します。

2. 便座ふたを開ける

- 便座があたたまるのを確認します。

3. 着座センサーを白紙や手でおおう

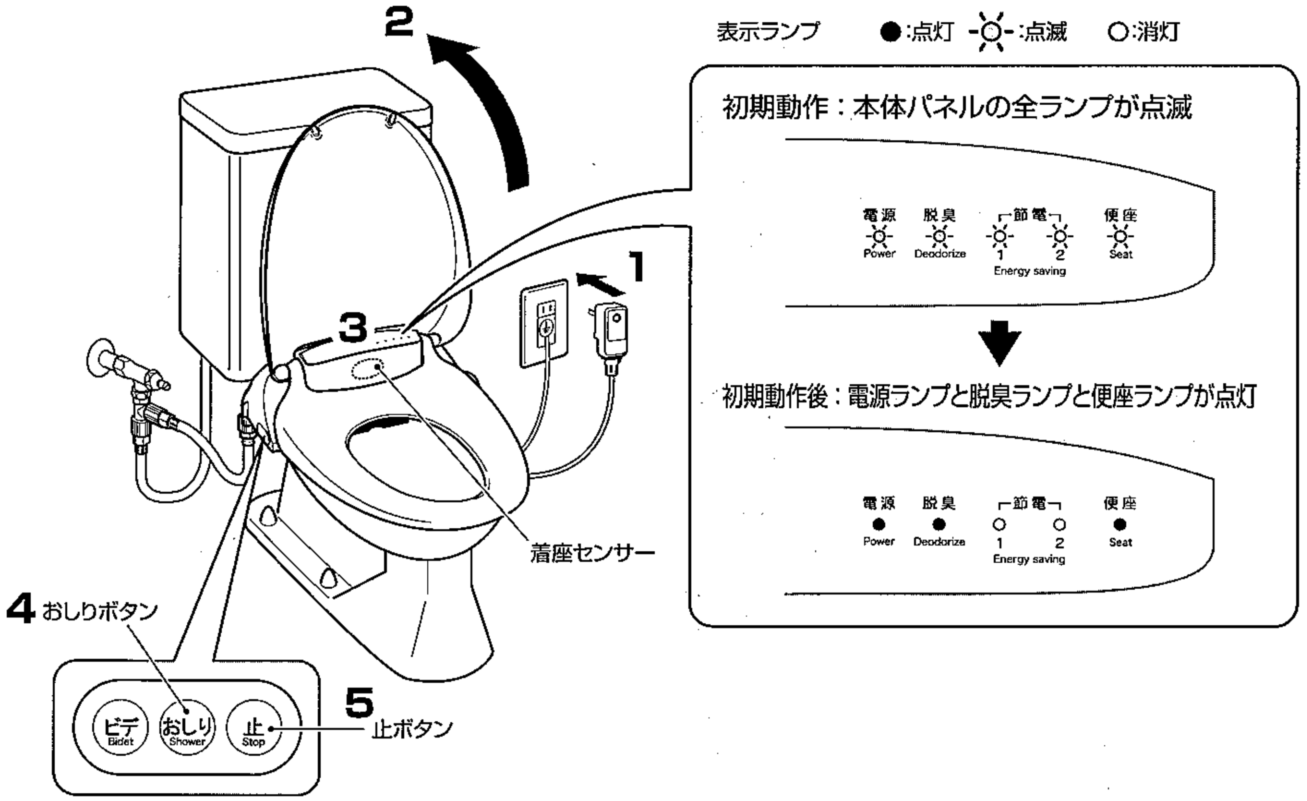
- 着座センサーが着座を検知します。
- 通水確認のため、ノズル付近から水が出ます。
- 便座ふたを開いていないと着座センサーは動作しません。
- 脱臭を開始します。(脱臭ファン動作音発生)

4. ビニールシートなどをノズルにあてながら、本体操作部にある「おしり」ボタンを押す

- 自動でノズル洗浄をします。
- ノズルが伸びて、ノズルから洗浄水 (温水) が出るのを確認してください。
  ビニールシートなどをあてないと、周りへ水が飛び散ります。

5. 洗浄水 (温水) が出るのを確認したら、本体操作部にある「止」ボタンを押す

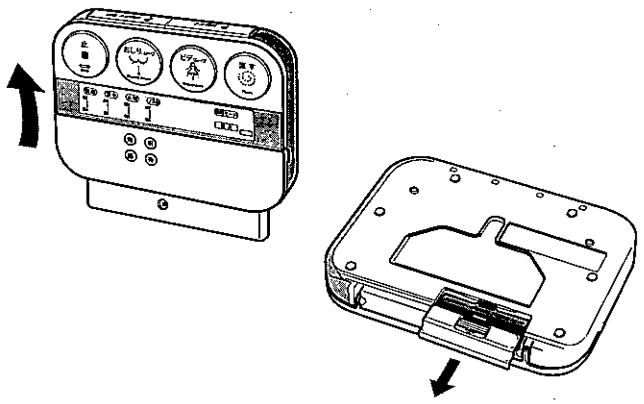
- 洗浄が終了し、ノズルが戻ります。



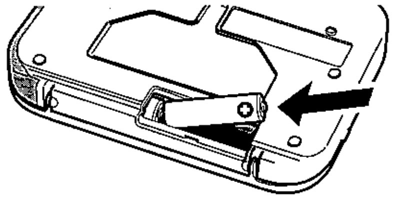
リモコンの準備と取り付けかた

1 電池を入れる

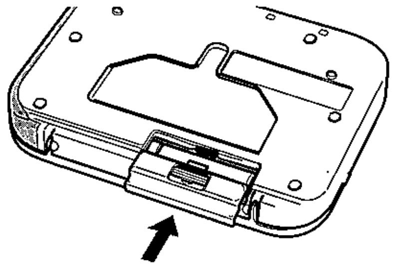
1. リモコンホルダーからリモコンをはずし、裏面にある電池カバーを開ける



2. 付属の単３形乾電池２本を極性を間違えないように入れる

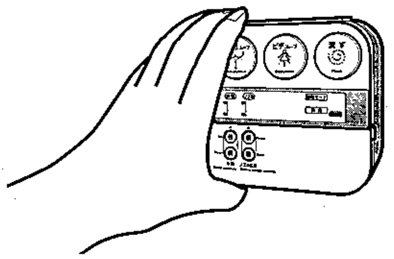


3. 電池カバーを閉じる



2 リモコンの取付け位置を決める

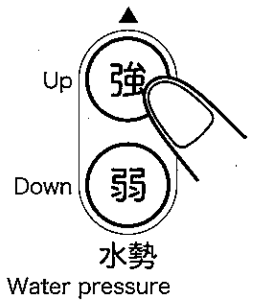
1. 便座に座った状態でボタンに手が届く範囲でおおよその取付け位置を決める



2. その位置にリモコンを手で保持しながら、リモコンの水勢調節 (強) (弱) ボタンを押し、受信状態を確認する（リモコンからの信号を本体が受信すると、「ピッ」という音がするのを確認）

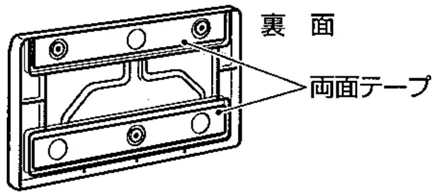
- リモコンの水勢調節ボタンを押しても正常に動作しない場合はリモコンの取付け位置を変更してください。リモコンは本体のリモコン受光部側に付けると、本体への信号が届きやすくなります。（本体に向かって右側）

※リモコン送信部を手でふさがないように注意してください。

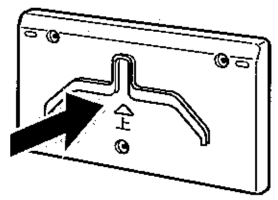


3 リモコンを壁面に取り付ける

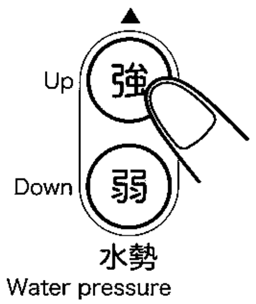
1. リモコンホルダーの裏面に、付属の両面テープを赤の上紙を残して貼り付ける



2. 壁面の汚れをふき取り、リモコンホルダーに貼った両面テープの赤色の上紙をはがしてリモコンホルダーを壁面に貼り付ける
（これは仮り止めです）

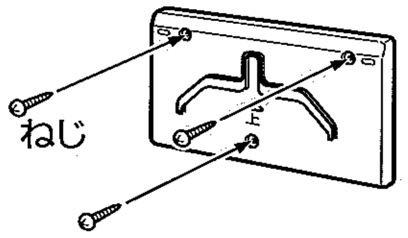


3. リモコンホルダーにリモコンをかけ、着座して水勢調節 (強) (弱) ボタンを押し、本体が正常に受信して「ピッ」という音がするのを確認する



4. リモコンをはずしてからリモコンホルダーを付属のねじ３本で固定する

- 壁面が石膏ボード、タイル、コンクリートなどの壁の場合は次ページの「石膏ボード、タイル、コンクリート壁への取り付け」をご覧になり取り付けてください。



（つづく）

リモコンの準備と取り付けかた（つづき）

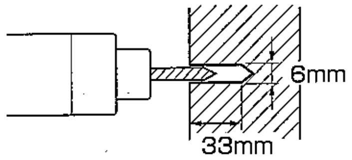
石膏ボード、タイル、コンクリート壁への取り付け

壁が石膏ボードやタイル、コンクリート壁の場合は、付属のアンカープラグを使ってリモコンホルダーを取り付けてください。

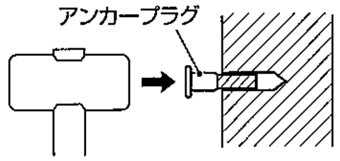
①壁に貼り付けた、リモコンホルダーのねじ穴（3 箇所）に先のとがったドライバーやきりなどで壁にしるしを付けてからリモコンホルダーを壁からはずす。

②リモコンホルダーのねじ位置に合わせ、ドリルで壁に直径 6mm の下穴を開ける。

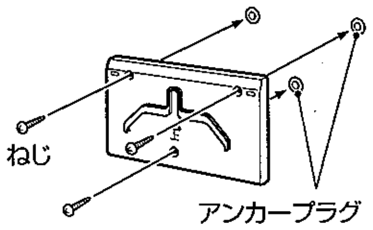
●壁タイル、コンクリート壁の場合、直径 6mm、深さ 33mm の下穴を開けてください。



③ハンマーなどを使い、アンカープラグを下穴に打ち込む。



④リモコンホルダーをねじ 3 本で取り付ける。

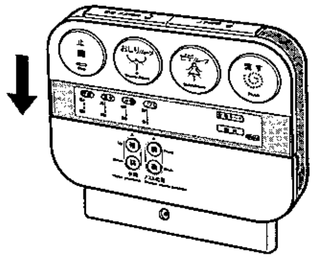


お願い

●石膏ボードに取り付けるときに、はじめはねじの締め付けがかたく、いったんゆるくなって再びややかたくなります。ややかたくなるまでしっかりと締め付けてください。

4 リモコンをリモコンホルダーにかける

●リモコンがリモコンホルダーに確実に固定されることを確認してください。



連立トイレに取り付けるかたへ

このページは、連立トイレ（隣接するトイレ）で使用する場合の説明です。したがってトイレが隣接していない場合はこのページの作業は必要ありませんので、とばしてお進みください。

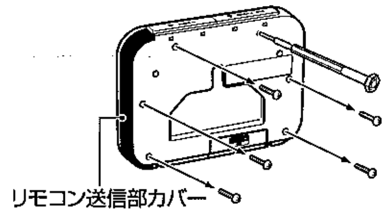
リモコンの設定

リモコンは工場出荷時には、どれも同じ設定ですのでリモコンの設定を変えずに、隣接するトイレで本製品が 2 台以上使用された場合に、誤作動の原因となりますので必ず以下の手順に従ってモードを変える設定をしてください。工場出荷時に設定されているモードも含め 8 種類の設定が可能です。（必要な工具：精密ドライバー、ニッパー）

1 リモコンのねじ6 本をはずし、裏ふたをはずす

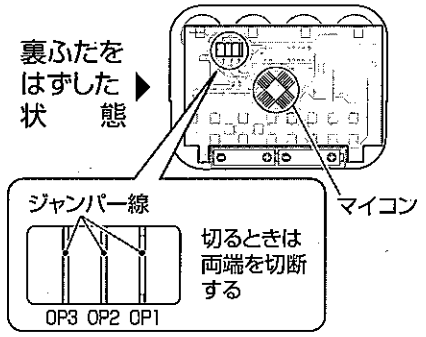
●精密ドライバーを使用してねじをはずしてください。

●裏ふたをはずすと天面にあるフタ開閉ボタンと便座・フタ開閉ボタンと側面にあるリモコン送信部カバーもはずれます。落とさないようにご注意ください。



2 回路基板のジャンパー線を切断してモードを変える

●ジャンパー線を切断するときは、ニッパーを使用し必ず線の両端を切断（他のジャンパー線との接触防止）し、切断カスが内部に落ちないようにリモコンを傾けて切断してください。また、回路基板上のマイコンに手が触れないようにリモコンの外周を持って切断してください。マイコンに手が触れるとマイコンが機能しなくなることがあります。



リモコン設定表　○：切断しない　×：切断する　＊：工場出荷時モード

OP3	OP2	OP1	設定モード
○	○	○	0 ＊
○	○	×	1
○	×	○	2
○	×	×	3
×	○	○	4
×	○	×	5
×	×	○	6
×	×	×	7

表の説明

●例えば 3 つ並んだトイレの場合、リモコン設定を 0、1、2 にします。0 のリモコンは、設定を変える必要がありません。1 のリモコンは OP1 のジャンパー線を切断します。2 のリモコンは OP2 のジャンパー線を切断してください。（それ以上トイレ数がある場合も、リモコン設定表に合わせてジャンパー線を切断し設定してください）

3 フタ開閉ボタンと便座・フタ開閉ボタンとリモコン送信部カバーを所定の場所にのせて、裏ふたを閉め、ねじ 6 本で固定する

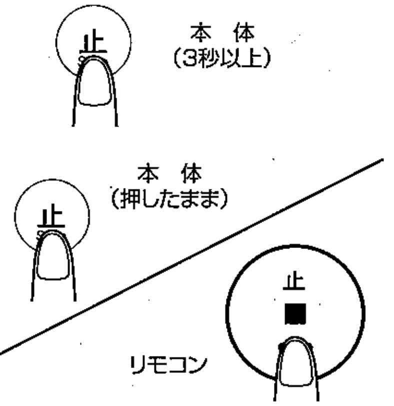
4 設定を変えたリモコンに合わせて本体の設定をする

1. 本体操作部の「止」ボタンを 3 秒以上押すと、ブザー音が 1 回鳴る

2. 本体操作部「止」ボタンを押したまま、リモコンの「止」ボタンを押す

3. ブザー音がピーピーピーと 3 回鳴り、設定が完了

●本体とリモコンの「止」ボタンから手を離してください。



使いかた

⚠警告

次のようなかたが使用されるときは、便座温度調節ボタンを「切」にして、周囲のかたが十分気をつける

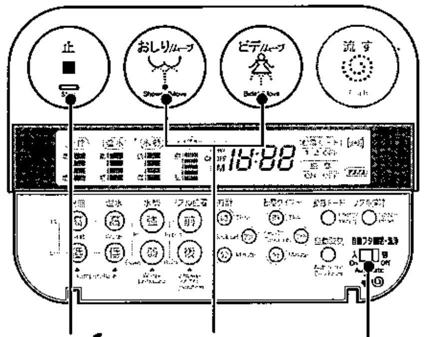
気をつける

お子様・お年寄り・皮膚感覚の弱いかた・ご自分で温度調節のできないかた・眠気を誘う薬（睡眠薬やかぜ薬など）を服用されたかた・深酒、疲労の激しいかたなど
低温やけどや事故の原因になります。

便座ふたの開閉中に便座ふたや便座ふたの付け根の部分に触れないこと

手を触れない

けがをしたり、製品破損の原因になります。



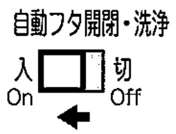
お知らせ
- リモコンの液晶パネルのランプはボタン操作により点灯した後、本体動作中であっても約5秒で消灯します。（電池消耗を防ぐため）
- おしり／ムーブ、ビデ／ムーブの操作は、便座ふたを開け、便座に座らないと動作しないようになっています。

1 自動便座ふた開閉の設定を行う

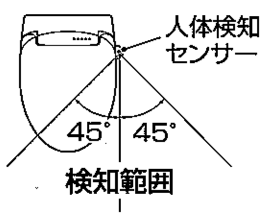
設定：リモコンの自動フタ開閉・洗浄スイッチを「入」にする

※工場出荷時はスイッチは「切」になっています。

- 人が便器に近づくと便座ふたは自動で開きます。人が便器から離れると便座ふたは約３分後に自動で閉じます。



- ふたの開閉時には「ピッ」と音がします。
- 自動便座ふた開閉は本体にある人体検知センサーの検知範囲内に人が入ったときに働きます。

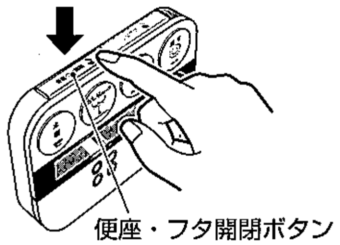


お願い
- 便座ふたにカバーなどを付けると、開閉動作に支障がでる場合があります。この場合はカバーをはずしてください。

お知らせ
- 窓からの太陽光やカーテンのゆれなどをセンサーが検知して便座ふたが自動で開くことがあります。
- トイレのドアが開いた状態で前を通りすぎると便座ふたが開くことがあります。
- 自動便座ふた開閉の設定を「入」にすると、自動便器洗浄の設定も「入」になります。

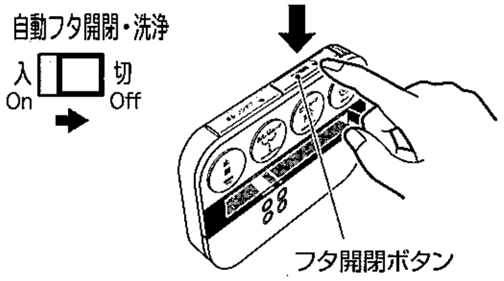
便座をリモコンで開閉するときは、リモコンの便座・フタ開閉ボタンを押す

- 便座が開きます。便座・便座ふたが開いた状態で便座・フタ開閉ボタンを押すと、便座・便座ふたの両方が閉じます。



自動便座ふた開閉を解除するときは、リモコンの自動フタ開閉・洗浄スイッチを「切」にする

- 便座ふたの開閉はリモコンのフタ開閉ボタンを押すか、手で開けてください。



2 便座に座る

着座センサーが人が座ったことを検知して、洗浄操作が可能になります。
- 通水確認するため、ノズル付近から水が出ます。
- 自動脱臭が設定されていれば、脱臭が始まります。
（脱臭ファン動作音発生）

お願い
- 着座センサーを衣類でおおうと、着座センサーが入らないことがあります。

3 （おしり/ムーブ）または（ビデ/ムーブ）ボタンを押す

- 自動でノズル洗浄をします。
- ノズル位置はお好みに合わせてノズル位置調節ボタンで調節できます。
- 連続して約２分ご使用になりますと、洗浄が止まります。続けてご使用になる場合は、同じボタンを押してください。
- 冬場など水道水の温度が低い場合、温水温度を「高」にしてもぬるく感じることがあります。
水勢を弱くしてご使用ください。

お願い
- 本体やリモコンのボタンを必要以上に強く押さないでください。故障の原因になります。

お知らせ
- ノズル洗浄は銀イオンを含んだ水で行います。おしり、ビデ用の洗浄には銀イオンは含まれていません。銀イオンを含むためノズル洗浄水が黒く見えることがありますが洗浄性能には影響はありませんので安心してお使いください。

4 （止）ボタンを押し、洗浄を停止する

- 約７秒間、ノズル洗浄をします。ノズルが、ノズル出口付近で伸縮を３回繰り返します。

お願い
- 洗浄は2分以上連続使用すると、タイマーが働いて自動的に停止します。さらにご使用になる時は再度ボタンを押してください。
- 洗浄停止後に続けて「おしり／ムーブ」または「ビデ／ムーブ」ボタンを押しても、すぐに洗浄を開始しない場合があります。

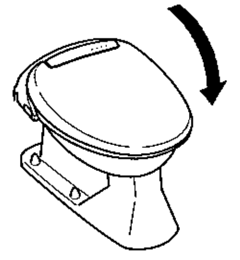
5 立ち上がる

- 着座センサーが人が立ち上がったことを検知して、洗浄操作ができなくなります。自動脱臭が設定されていれば、約１分後に自動停止します。

お願い
- 洗浄後、ノズル付近から水が出ますが、これは本体内部ホースの残水が出てくるもので、異常ではありません。（約２分後に止まります）
- 連続して水が出ているときは、何らかの異常が考えられます。止水栓を閉め、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店、またはジャニス工業㈱お客様相談係へお問い合わせください。

6 便座ふたを閉じる

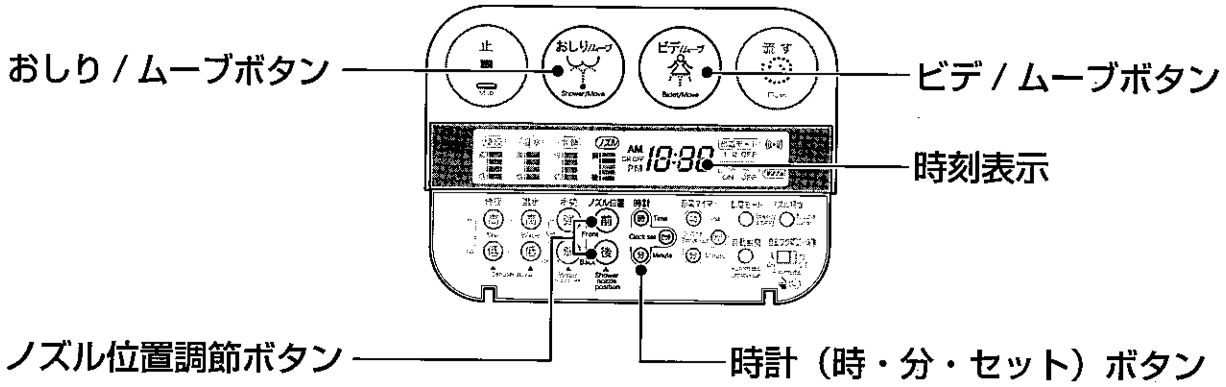
- リモコンの自動フタ開閉・洗浄スイッチが「入」になっていれば、人が便器から離れると便座ふたは約３分後に自動で閉じます。（便座を開けたときは便座も自動で閉まります）
- 便座ふた・便座はゆっくりと閉まる機構になっています。破損の原因になるため、便座ふた・便座に無理な力を加えないでください。



お知らせ
- 水道水の温度が低い場合は製品内部の凍結を防止するため、約１時間ごとに自動で製品内部の水を便器内に排出します。凍結のおそれのある場合は34ページの凍結防止処置をしてください。

（つづく）

使いかた（つづき）



時計の合わせかた

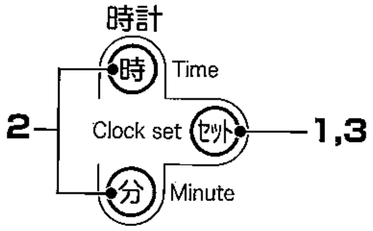
1. 時計の (セット) ボタンを押す

リモコン液晶部の時刻表示が点滅します。

2. 時計の (時) (分) のボタンを押して、現在時刻に合わせる

3. 現在時刻に合わせたら、(セット) ボタンを押す

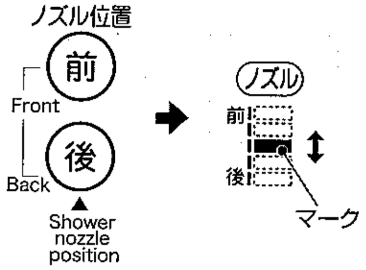
表示時刻の点滅が止まり、時刻合わせが完了します。



ノズル位置の調節

おしり洗浄またはビデ洗浄中に (前) (後) ボタンを押す

- ●5 段階で調節できます。
- ●ボタンを押すたびに、ノズル位置調節表示のマークが上下に移動しノズル位置を示します。
- ●ノズル位置の設定は、直前に使用された位置が記憶されます。次にご使用になるときに、必要に応じて再度調節をしてください。
- ●ムーブ洗浄中にはノズル位置の調節はできません。



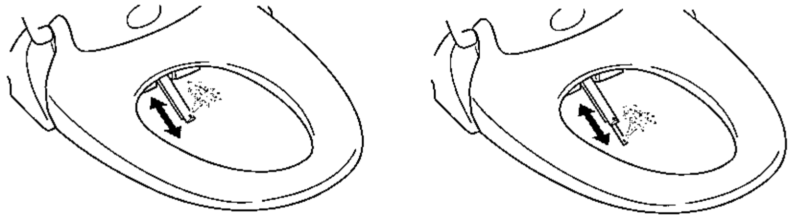
ムーブ洗浄

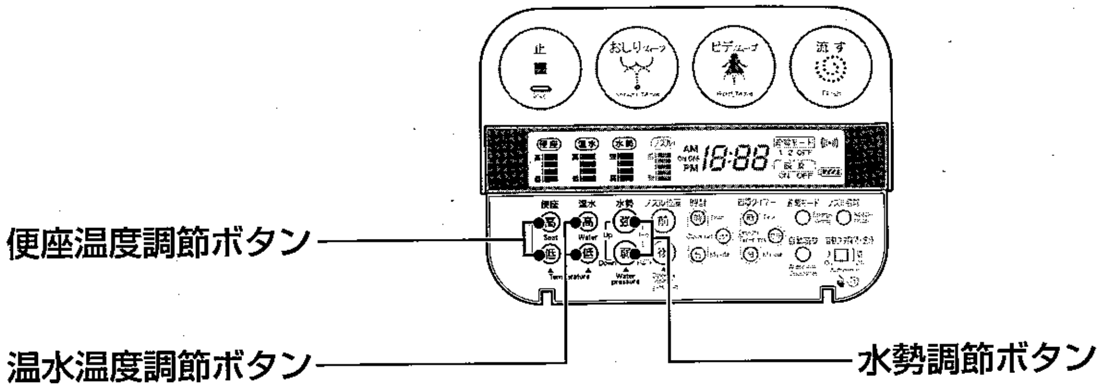
おしり洗浄またはビデ洗浄中に (おしりムーブ) または (ビデムーブ) ボタンを押す

- ●ノズルが前後に伸縮し、広範囲をまんべんなく洗浄します。
- ●もう一度「おしり / ムーブ」ボタンか「ビデ / ムーブ」ボタンを押すと、ムーブ洗浄が終了し、通常の洗浄に戻ります。

お知らせ

- ●ムーブ洗浄中にはノズルの位置調節はできません。ノズルの位置を調節する場合は、ムーブ洗浄を停止してから行ってください。

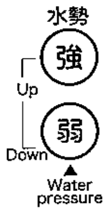


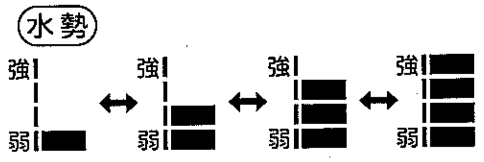


水勢の調節

水勢調節 (強) (弱) ボタンを押す

- ●ボタンを押すごとに水勢が変更し、4 段階に調節できます。
- ●洗浄時以外でも調節できます。
- ●水勢の強さ設定は本体に記憶されます。直前に設定した強さで洗浄を行います。
- ●水道水圧が低いところでは、水勢の調節を「弱」にすると洗浄水が出ないことがあります。このようなときは、水勢の調節を「強」にしてください。
- ●水勢の調節は、リモコンのふたが閉まっているときでも調節できます。





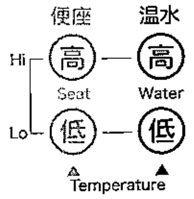
温水温度の調節

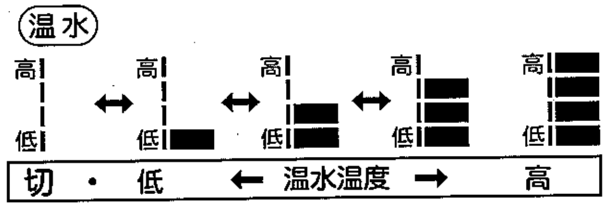
温水温度調節 (高) (低) ボタンを押す

- ●ボタンを押すごとに設定温度が変更し、4 段階で調整できます。
- ●温水温度を切（水道水の温度）にするときは、「低」ボタンを押しマークを消灯の状態にしてください。
- ●洗浄時以外でも調節できます。

お知らせ

- ●冬期などで入水温度が低い場合には、温水温度を「高」に設定してもぬるめに感じることがあります。このときは水勢を弱くしてご使用ください。

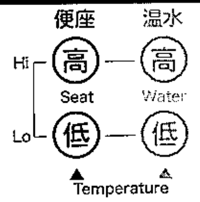


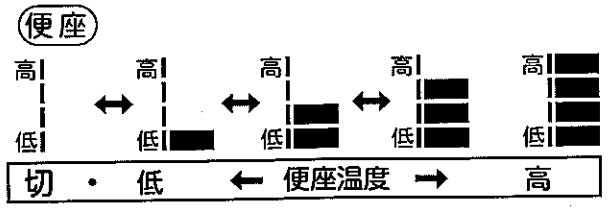


便座温度の調節

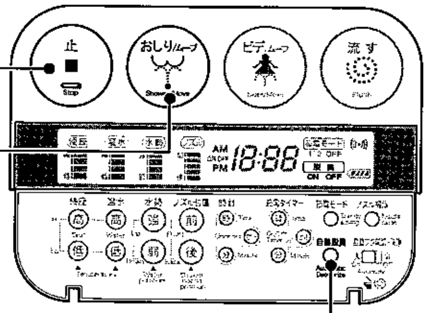
便座温度調節 (高) (低) ボタンを押す

- ●ボタンを押すごとに設定温度が変更し、4 段階で調整できます。
- ●便座温度を切（暖房しない）にするときは、「低」ボタンを押しマークを消灯の状態にしてください。
- ●洗浄時以外でも調節できます。





使いかた（つづき）



自動脱臭

自動脱臭ボタンを押す

自動脱臭
Automatic Deodorize

- リモコン液晶部の脱臭設定表示に ON が点灯し、脱臭が設定されます。
- ボタンを押すごとに設定（ON）／解除され（OFF）、ON、OFF 表示が点灯します。
- 着座して着座センサーが入ると、脱臭ファンが動作し脱臭を始めます。
- 立ち上がって着座センサーが切れると、約 1 分後に自動停止します。
- 脱臭中に脱臭ボタンを押すと、脱臭が停止し、「脱臭」表示が OFF になり設定が解除されます。

[脱 臭] ON ↔ [脱 臭] OFF

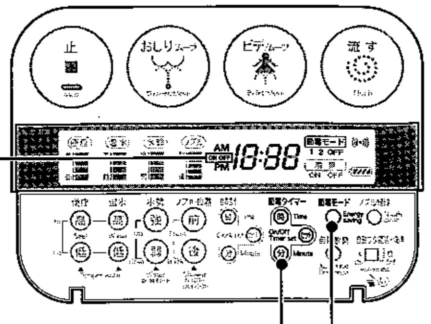
お知らせ

- 脱臭を連続で使用した場合、約 15 分で自動停止します。
  続けて使用する場合は、一度立ち上がって座り直してください。
  脱臭機能は、便器内の脱臭を目的にしております。トイレ全体を脱臭することはできません。

液晶表示部のバックライトの点灯中止

（止）と（おしり/ムーブ）ボタンを同時に約 3 秒間（バックライトが消灯するまで）押す

- スイッチ操作をしてもバックライトは点灯しなくなります。
- ふたたびバックライトを点灯させるときは（止）と（おしり/ムーブ）ボタンを同時に約 3 秒間（バックライトが点灯するまで）押してください。次のボタン操作からバックライトが点灯するようになります。



節電

節電モードボタンを押す

- ボタンを押すごとに、節電モード 1 →節電モード 2 →解除（OFF）に設定を変更できます。

節電モード ○ Energy saving　[節電モード] 1 → [節電モード] 2 → [節電モード] OFF

●節電モード 1

- 設定温度（低、中、高）に関係なく便座温度を約 28℃に設定します。
  （便座ヒーターへの通電時間を短くして節電します）
- 便座に座る（着座センサーが検知する）と、便座ヒーターに通電し、設定温度まで温度を上げます。（設定温度になるまで、約 4 分かかります。）
- 立ち上がると、再び便座温度を約 28℃に設定します。

※節電モード 1 ではタイマー設定による節電はできません。

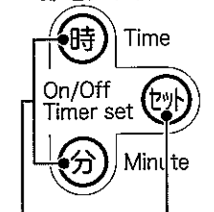
●節電モード 2（タイマー節電）

- 節電モード 2 は、タイマーで設定した時間帯に毎日、便座ヒーターへの通電を止めます。
- 初めてお使いになるときやリモコンの電池を交換したときなど、タイマー設定をしないと自動的に AM1:00（夜中）～ AM5:00 まで節電モードで動作します。
- 着座していないときは、本体パネル「節電」と「電源」ランプ以外のランプは消灯します。
- タイマー設定した時間帯に座る（着座センサーが検知する）と、便座ヒーターに通電し、設定温度まで温度を上げます。（設定温度になるまで、約 7 分かかります）
  このとき、「節電」ランプ以外の設定表示ランプが点灯します。立ち上がると、再び便座ヒーターへの通電を止め、「節電」と「電源」ランプ以外のランプは消灯します。

※設定温度に到達するまでの時間は周囲の温度などにより変わります。

■タイマー設定のしかた

節電タイマー



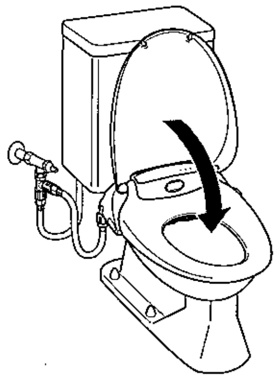
1. **節電タイマーの（セット）ボタンを押す**
   - 時刻表示と左側に ON 表示が点滅します。
2. **節電タイマーの（時）（分）ボタンを押して、節電開始時刻に合わせる**
3. **開始時刻を合わせたら、（セット）ボタンを押す（これで節電開始時刻が設定されます）**
   - 時刻表示と左側に OFF 表示が点滅します。
4. **節電タイマーの（時）（分）を押して、節電終了時刻に合わせる**
5. **終了時刻を合わせたら、（セット）ボタンを押す（これで節電タイマーが設定されます）**
   - 節電モード 2 では、節電中は節電モード ON・OFF 表示の ON が点灯し、節電が終了すると OFF が点灯します。

（つづく）

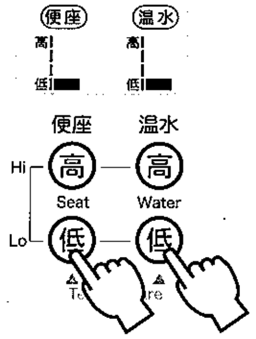
その他の節電のしかた

節電のために次のことをお願いします。

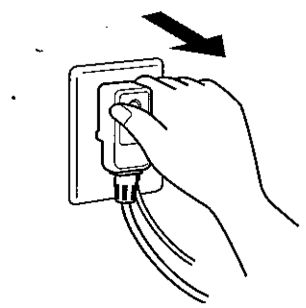
●便座ふたは閉じておきましょう。
使用後に便座ふたを閉じておくと、便座表面からの放熱を減らすことができ、節電になります。
自動フタ開閉・洗浄スイッチを「入」にしておくと、便座ふたの閉め忘れがありません。

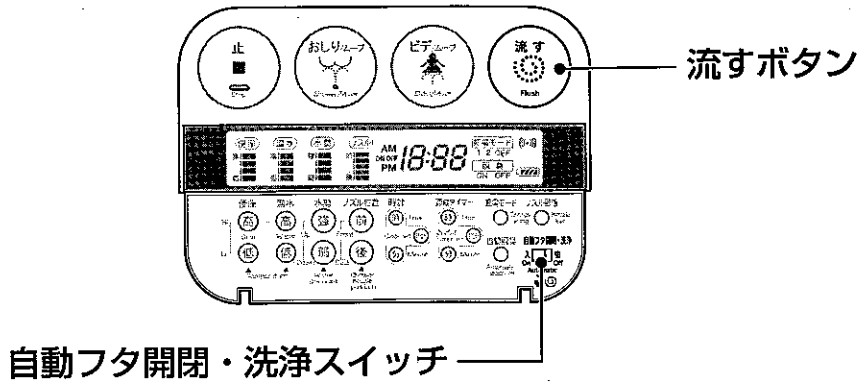


●設定温度を低めにしましょう。
季節に応じて、冷たさを感じない範囲で設定温度を低めに調節すると、節電になります。

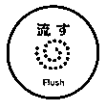


●こまめに電源を切っておきましょう。
外出時など長時間使用しないときは、電源プラグを抜いておくと、節電になります。





リモコン便器洗浄

 **ボタンを押す**

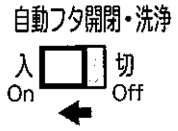
- 便器洗浄します。
- 便器洗浄待機時間中は、（流す）を押しても便器洗浄を行ないません。

自動便器洗浄

自動フタ開閉・洗浄スイッチを「入」にする

- 便座に約 10 秒以上座り、便器から離れると便器洗浄します。
- 便器洗浄待機時間中は待機時間経過後に便器洗浄します。

※工場出荷時は、「切」になっています。
※自動便座ふた開閉と連動して設定されます。



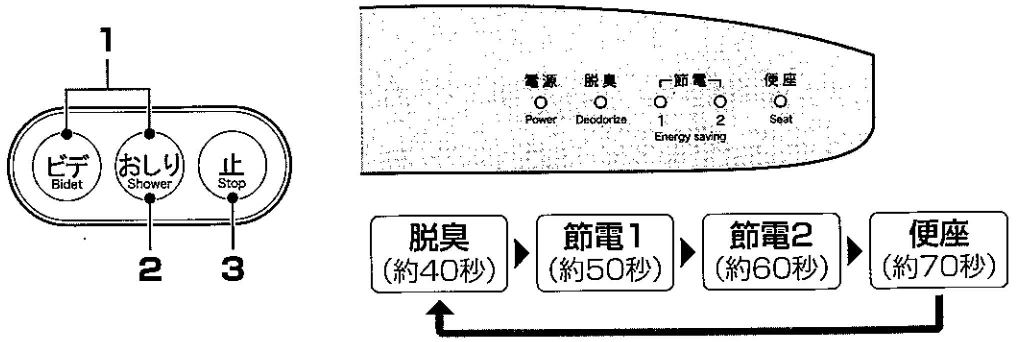
便器洗浄待機時間の設定

タンクに水がたまるのを待つために、便器洗浄を行なわない時間を設定する機能です。
※工場出荷時は、「約 60 秒」になっています。

1. 本体操作部の（ビデ）と（おしり）ボタンを、同時に約 3 秒間（ピッと音がするまで）押す
- 本体パネルの脱臭ランプ / 節電 1 ランプ / 節電 2 ランプ / 便座ランプのいずれかひとつが点灯します。

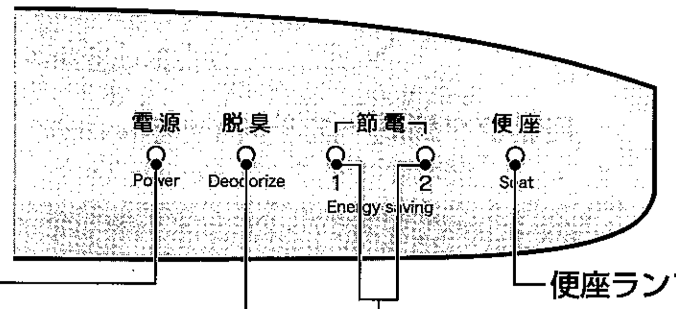
2. 本体操作部の（おしり）ボタンを押して、設定時間を変更する

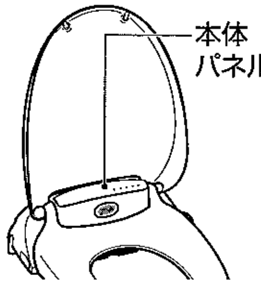
3. 本体操作部の（止）ボタンを押すと、「ピーピーピー」と音がして設定完了



本体パネルの表示について

本体パネルの表示ランプが次の動作を表示します。





電源ランプ
- 電源プラグがコンセントに差し込まれているとき点灯、電源プラグが差し込まれていないとき消灯します。

脱臭ランプ
- 自動脱臭が設定されているとき点灯、設定されていないとき消灯します。

便座ランプ
- 便座ヒーターが「入」のとき点灯、「切」のとき消灯します。

節電ランプ
- 節電１か節電２の設定のとき点灯、節電設定されていないとき消灯します。

本体操作部の使いかた

⚠警告

気をつける

次のようなかたが使用されるときは、便座温度調節ボタンを「切」にして、周囲のかたが十分気をつける

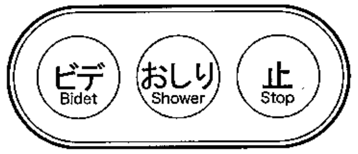
お子様・お年寄り・皮膚感覚の弱いかた・ご自分で温度調節のできないかた・眠気を誘う薬(睡眠薬やかぜ薬など)を服用されたかた・深酒、疲労の激しいかたなど
低温やけどや事故の原因になります。

手を触れない

便座ふたの開閉中に便座ふたや便座ふたの付け根の部分に触れないこと

けがをしたり、製品破損の原因になります。

リモコンの電池が消耗したときなどに、本体操作部のボタンを使用してください。



1 おしり(Shower) または ビデ(Bidet) ボタンを押す

- 自動でノズル洗浄をします。連続して約２分ご使用になりますと、洗浄が止まります。続けてご使用になる場合は、同じボタンを押してください。
- 同じボタンを２回押すとムーブ洗浄を開始します。もう一度同じボタンを押すとムーブ洗浄を終了し、通常の洗浄に戻ります。

お願い
- 本体やリモコンのボタンを必要以上に強く押さないでください。故障の原因になります。

2 止(Stop) ボタンを押し、洗浄を停止する

- 約７秒間、ノズル洗浄をします。ノズルが、ノズル出口付近で伸縮を３回繰り返します。

お願い
- 洗浄は２分以上連続使用すると、タイマーが働いて自動的に停止します。さらにご使用になる時は再度ボタンを押してください。
- 洗浄停止後に続けて「おしり」または「ビデ」ボタンを押しても、すぐに洗浄を開始しない場合があります。

お手入れのしかた

⚠警告

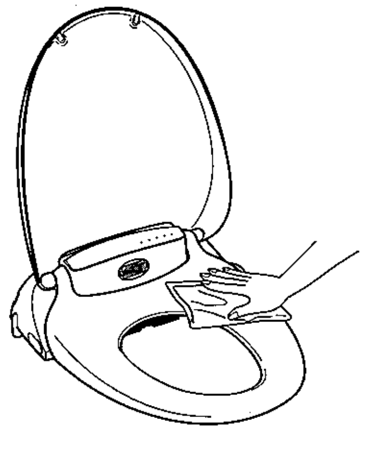
お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。
プラグを抜く

⚠注意

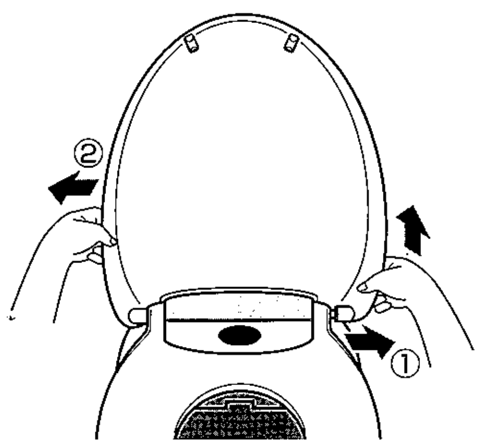
酸性やアルカリ性のトイレ用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどを使用しない
プラスチツク・金具を傷めます。
禁止

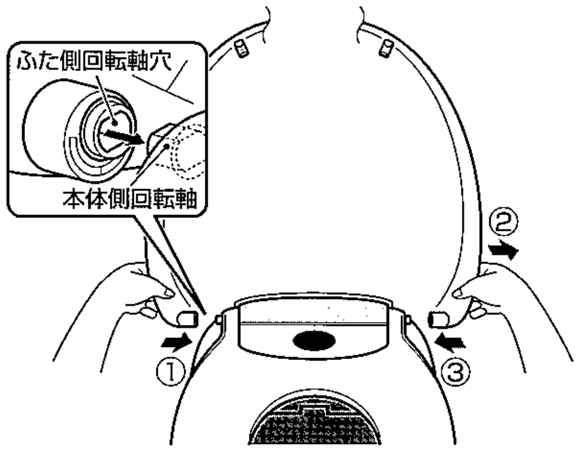
本体

1. **電源プラグをコンセントから抜く**
2. **柔らかい布などに水を含ませ、固くしぼってからふく**
3. **汚れがひどいときは、中性洗剤を柔らかい布に含ませてふき取り、そのあと水ぶきする**
   洗剤のご使用にあたっては、洗剤の用途をよく確認してからご使用ください。
   便座ふたは取りはずしてお手入れできます。
   本体も取りはずしてお手入れできます。
4. **お手入れが終わったら、電源プラグをコンセントに差し込む**
   ●電源プラグの「漏電表示」ランプが消灯していることを確認してください。



便座ふたの取りはずし・取り付けかた





取りはずしかた
① 便座ふたを開けた状態で、右側を広げるようにして持ち上げて回転軸からはずす。
② 便座ふたを左側に移動させながら本体からはずす。

取り付けかた
① 便座ふたを開けた状態で、左側のふた側回転軸穴を本体側回転軸にはめる。
② 便座ふたの右側を広げながら、③ ふた側回転軸穴を本体側回転軸にはめる。
●便座ふたを何回かゆっくりと開閉させて、異常のないことを確認してください。

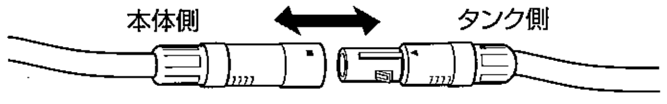
お願い
●便座、便座ふたを無理に閉めないでください。回転軸が破損して便座、便座ふたの開閉に支障をきたすことがあります。

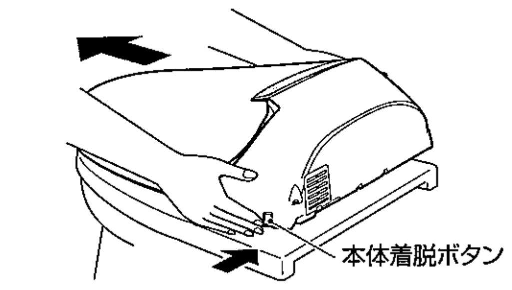
⚠注意

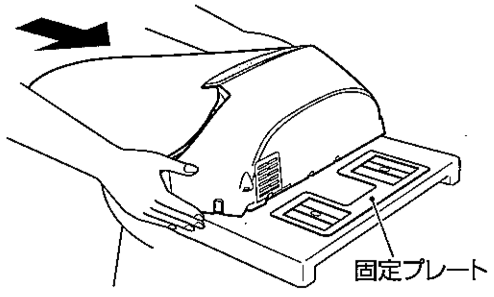
ストレーナをはずすときは、止水栓を閉める また、ストレーナを取り付けるときは、すき間がないようにしっかり閉める
漏水の原因になります。
閉める

本体の取りはずし・取り付けかた

本体を取り外すときは、先に洗浄ユニットコードをはずしてください。







取りはずしかた
本体の両側部を持ち、本体右奥にある本体着脱ボタンを押したまま手前に引き出す。

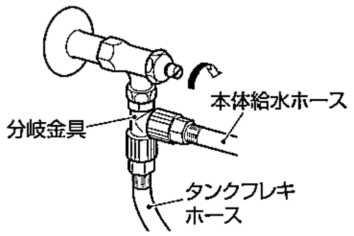
取り付けかた
本体中央部と固定プレートの中央を合わせ、カチッと音がするまで奥へ押し込む。

お願い
●便座、便座ふたを持って本体を持ち上げないでください。本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。

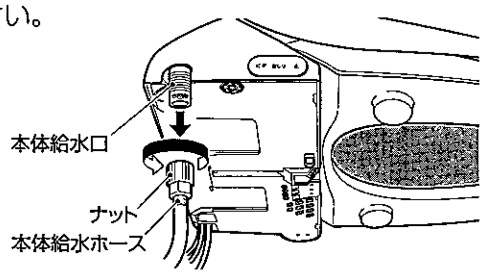
ストレーナ

ストレーナにゴミが詰まると洗浄水の水勢が弱くなります。水勢が弱くなってきたらストレーナのお掃除をしてください。

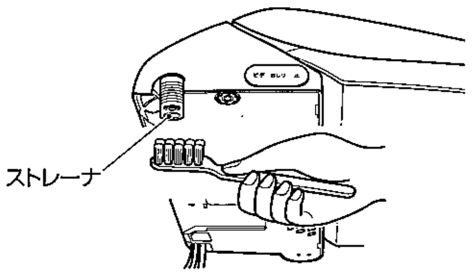
1. **電源プラグをコンセントから抜く**
2. **マイナスドライバーなどで止水栓を閉める**



3. **本体から本体給水ホースを取りはずす**
   ●給水ホース内の残水により床をぬらさないように気をつけて、モンキーレンチなどでナットをゆるめてください。



4. **歯ブラシなどでストレーナ内部の掃除をする**
   ●ストレーナは本体給水口に内蔵されています。



5. **本体に本体給水ホースを取り付け、止水栓を開ける**
   ●水漏れしていないか確認してください。
6. **電源プラグをコンセントに差し込む**
   ●電源プラグの「漏電表示」ランプが消灯していることを確認してください。

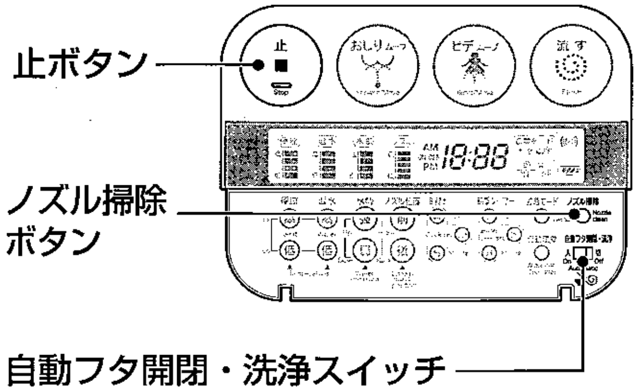
（つづく）

お手入れのしかた（つづき）

⚠警告

スイッチを「切」にする

ノズル掃除をするときは、自動フタ開閉・洗浄スイッチを「切」にする
けがをしたり、製品破損の原因になります。



ノズル

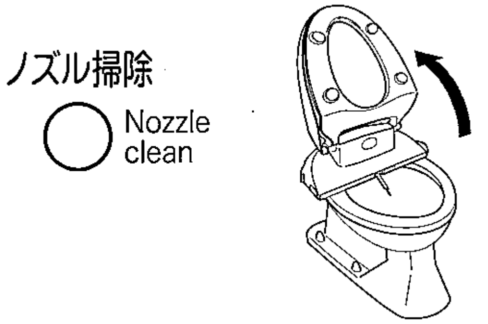
1 電源プラグをコンセントに差し込む

2 自動フタ開閉・洗浄スイッチを「切」にする

3 便座ふた、便座を開ける

4 リモコンのノズル掃除ボタンを押す

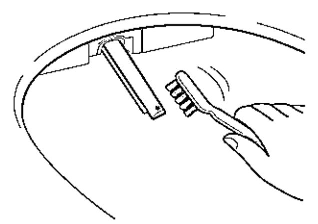
- ノズルが洗浄されながら伸縮し、約 6cm 出た状態で停止します。
- ノズルの根元部分まで掃除したい場合は、ノズルの先端部分を指で引っ張ってください。ノズルは約 9cm まで伸ばせます。



お願い
- ノズルに無理な力を加えないでください。

5 柔らかいスポンジやブラシ、布などに水を含ませて、ノズルを軽くふく

- ビデノズルは、指で軽く引っ張りながら掃除してください。



お願い
- ノズルの穴を傷つけないでください。
- ノズルに無理な力を加えないでください。ノズル動作中にノズルを無理におさえると内部のギアが破損する恐れがあります。

6 リモコンの（止）ボタンを押す

お知らせ
- ノズルが本体に収納された後、カタ・カタと音のすることがありますが、異常ではありません。

7 便座、便座ふたを閉める

- ノズル掃除の状態で 2 分経過するとノズルは自動的に戻ります。
- 便座・便座ふたはゆっくりと閉めてください。

8 自動フタ開閉・洗浄スイッチを「入」に戻す

⚠注意

禁止
脱臭カセット挿入口から、脱臭カセット以外のものを入れない
指などを入れると、挿入口の奥の脱臭ファンで、けがをする原因になります。

禁止
脱臭フィルターには、洗剤や水をかけない
洗剤をかけると塩素系ガスが発生し、気分が悪くなることがあります。
万一、洗剤がかかったときは、すぐ換気をしてください。

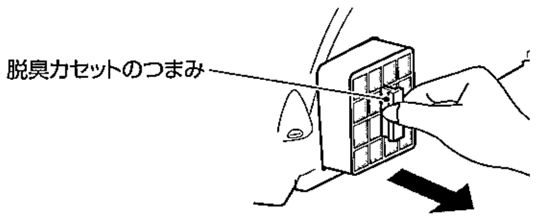
お願い
- 脱臭フィルターの水洗いはしないでください。性能が低下したり、形がくずれることがあります。

脱臭フィルター

1 脱臭排気口のロック爪を押し上げながらはずす

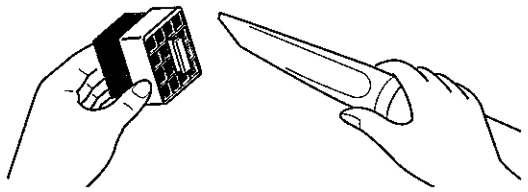
- 無理に引っ張るとロック爪が破損する原因になります。

2 脱臭カセットのつまみをつまんで脱臭カセットを引き出す



3 脱臭フィルターのほこりを、掃除機などで取り除く

- 脱臭フィルターの格子部分が触れると黒くよごれることがあります。
身体や衣類によごれが付いた場合は水洗いしてよごれを落としてください。



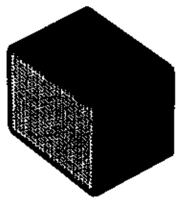
4 脱臭カセットを元通りに差し込み、脱臭排気口を取り付ける

- ロック爪は確実にセットしてください。

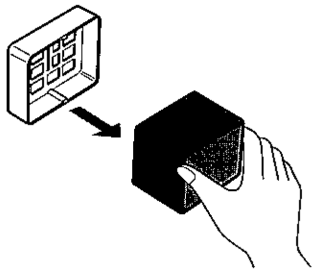
■脱臭フィルターのお取り替え

脱臭フィルターの寿命は約 5 年です。お手入れしても、においが気になる場合はお取り替えください。
脱臭フィルターのご購入は、お買い上げの販売店へご注文ください。

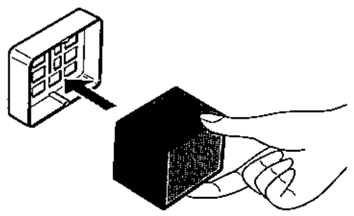
■脱臭フィルター
（部品コード：50451586）



1.寿命になった脱臭フィルターを引き抜く



2.新しい脱臭フィルターをカセットに差し込む



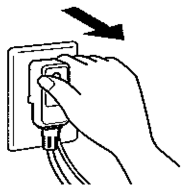
お手入れ・アフターサービス

凍結防止・長期間使わないときの処置のしかた

凍結のおそれがあるときは、配管部が破損する可能性がありますので水抜きをしてください。
長期間使わないときは、水が腐敗して皮膚の炎症などの原因となりますので水抜きをしてください。

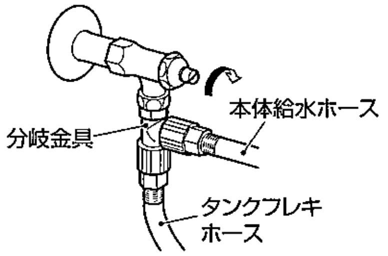
1 電源プラグを抜く

●コンセントから電源プラグを抜く。



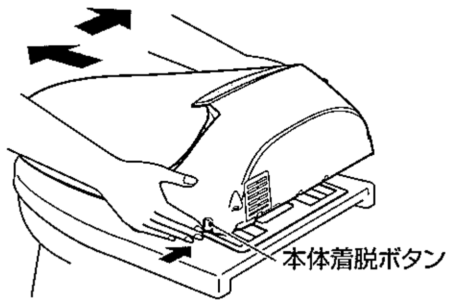
2 止水栓を閉める

●マイナスドライバーなどで止水栓を閉める。



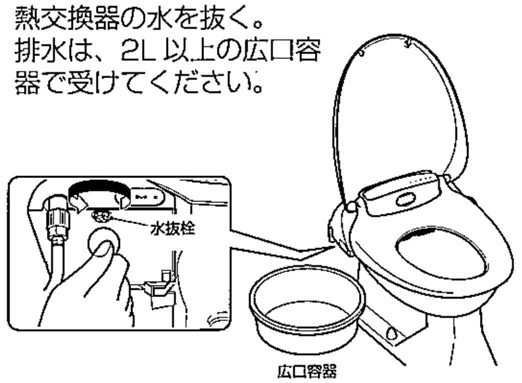
3 本体着脱ボタンを押して便器からずらす

●熱交換器水抜栓を下側から回しやすい位置にするため、下図のような位置に本体をずらしてください。



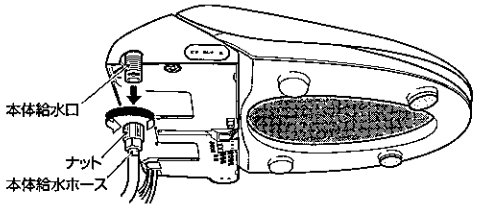
4 熱交換器の水を抜く

●水抜栓をコイン状のもので回してはずし、熱交換器の水を抜く。
排水は、2L 以上の広口容器で受けてください。



5 給水ホースとロータンクの水を抜く

1. 本体給水口に接続されている本体給水ホースをはずし、はずした本体給水ホースの先端部分を広口容器に入れる



2. ロータンクのレバーを回し、ロータンク内の水を流し、空にする

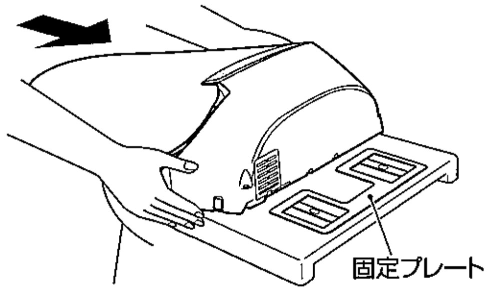
●ロータンクのレバーを回すと、給水ホース内の水も抜けますので、はずした本体給水ホースの先端部が広口容器に入っていることを確認してください。

お願い

●凍結予防中は、ロータンクおよび本体に給水されませんのでトイレは使えません。

6 本体をもとに戻す

●本体中央部と固定プレートの中央を合わせ、カチッと音がするまで奥へ押し込んでください。



凍結予防を解除する・使用を再開する

1 水抜栓を元通りに取り付ける

2 本体給水ホースを元通りに取り付ける

3 止水栓を開ける

4 電源プラグを差し込む

●電源プラグの「漏電表示」ランプが消灯していることを確認してください。

異常報知について

本体に異常が発生すると本体パネルの表示ランプが点滅してお知らせします。

表示内容	考えられる原因と処置のしかた	
脱臭 ○　節電1 -☼-　節電2 ○	● 入水温度異常 ● 入水温度センサーの故障による温水温度制御不能	ご使用をやめて電源プラグを抜き、点検・修理をご依頼ください。
脱臭 ○　節電1 ○　節電2 -☼-	● 出水温度異常 ● 出水温度センサーの故障による温水温度制御不能	
電源 -☼-　脱臭 ○	● 水位検知異常 ● ヒーター内の水量・水位不足による水位制御不能 断水の時などに洗浄ボタンを押すと電源ランプが点滅することがあります。断水状態が解消された後、着座すると電源ランプの点滅は点灯に変わりますので、そのままお使いください。	
節電2 ○　便座 -☼-	● 便座温度異常 ● 便座温度センサーの故障による便座温度制御不能	

表示ランプ　●:点灯　-☼-:点滅　○:消灯

故障かなと思ったら

修理サービスを依頼される前に、次の点をお調べください。

状態	原因	処置方法
動かない	●停電していませんか。 ●ブレーカーが切れていませんか。 ●電源プラグが抜けていませんか。 ●電源プラグの「漏電表示」ランプが点灯していませんか。 ●リモコン受光部が衣類などでおおわれていませんか。	●停電の復帰を待ってください。 ●ブレーカーを「入」にしてください。 ●電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ●電源プラグの「入（リセット）」ボタンを押して「漏電表示」ランプが消灯することを確認してください。 ランプが消灯しない場合は、ご使用をやめて電源プラグを抜き、点検・修理をご依頼ください。 ●衣類などを離してください。
ノズルが出ない	●着座センサーが動作しづらい状態（着座センサー部を衣類がかくしているなど）になっていませんか。	●着座センサーから衣類を離してください。
リモコンのスイッチを押すと液晶表示が消える	●電池残量が少なくなっていませんか。 （電池残量表示が残り2目盛でも症状がでることがあります）	●電池交換してください。 （電池は同一銘柄のアルカリ電池の新品をお使いください）
電池の消耗が早い	●スイッチを押すとバックライトが点灯し、電力が使われます。 ●付属の電池は取り付け時の動作チェック用のため、寿命が短い場合があります。	●止ボタンとおしり／ムーブボタンを同時に押して、バックライトが点灯しないようにできます（24ページ）。
洗浄水が出ない （おしり洗浄、ビデ洗浄、便器洗浄）	●断水していませんか。 ●止水栓が閉まっていませんか。 ●本体給水ホースなどが凍結していませんか。	●断水の復帰を待ってください。 ●止水栓を開けてください。 ●お湯に浸した布などで、本体給水ホースなど凍結部を温めてください。または室内を暖めて解凍してください。（熱湯や熱風による解凍はしないでください。ホースが破損する恐れがあります）
水勢が弱い	●ストレーナにゴミが詰まっていませんか。 ●本体給水ホースが折れ曲がっていませんか。 ●ノズルが目詰まりしていませんか。 ●水勢が「弱」になっていませんか。	●ストレーナを掃除してください。 ●ホースの折れ曲がりをなくしてください。 ●ノズルを掃除してください。 ●水勢を「強」に調節してください。
洗浄水がぬるい、冷たい	●温水温度調節が「切」、「低」に設定されていませんか。 ●入水温度が低い場合には温水温度を「高」にしてもぬるめに感じることがあります。	●設定温度を「中」、「高」に調節してください。 ●水勢を弱くしてお使いください。
暖房便座がぬるい、冷たい	●便座温度調節が「切」、「低」に設定されていませんか。 ●節電モードを設定していませんか。 （節電ランプが点灯していませんか） ●便座ふたを開けた直後ではありませんか。	●設定温度を「中」、「高」に調節してください。 ●着座して約5分待ってください。 （便座を暖めます） ●待機状態が解除され徐々に温まっているところです。

状態	原因	処置方法
脱臭が動作しない	●脱臭を設定していますか。	●「脱臭」ボタンを押して、設定してください。
脱臭が途中で止まる	●15分以上着座していませんか。	●連続して着座していると、約15分で脱臭が止まりますので、座り直してください。
においが取れなくなった	●脱臭フィルターにほこりが詰まっていませんか。	●脱臭フィルターのお手入れをしてください。
本体ががたつく	●本体を固定している取付ボルトの締付がゆるんでいませんか。	●取付ボルトを締め付け直してください。
便座ふたが自動で開かない	●自動フタ開閉・洗浄スイッチが「切」になっていませんか。 ●センサーの検知範囲に入っていますか。	●自動フタ開閉･洗浄スイッチを「入」にしてください。
便座ふたが自動で閉じない	●自動フタ開閉・洗浄スイッチが「切」になっていませんか。 ●便座ふたは人を検知しなくなってから約3分で閉じます。	●自動フタ開閉･洗浄スイッチを「入」にしてください。
便器洗浄しない	●洗浄ユニットコードが接続されていますか。 ●連続してスイッチを押していませんか。 ●連続して使うことができません。便器洗浄を行なった後、約60秒間はスイッチを受け付けません。	●洗浄ユニットコードを接続してください。 ●しばらくしてから、もう一度ｽｲｯﾁを押してください。 （タンクに水が貯まる時間が目安です）
自動で便器洗浄しない	●自動フタ開閉・洗浄スイッチが「切」になっていませんか。	●自動フタ開閉･洗浄スイッチを「入」にしてください。
	●連続して便器洗浄を行なっていませんか。 ●便器洗浄を行なった後、約60秒間は自動で便器洗浄を行ないません。	●タンクに水が貯まるまでお待ちください。自動で便器洗浄します。
	●便座に座っている時間が短くありませんか。	●便座に10秒以上座ってください。
	●着座センサーが汚れていませんか。 ●着座センサーがおおわれていませんか。	●汚れやおおいを取り除いてください。
便座本体とリモコンの設定が異なる	●停電はありませんでしたか。 ●電源プラグを抜きましたか。 ●電源がOFFすると便座本体の設定はリセットされます。	●リモコンを操作して設定しなおしてください。
	●リモコンの電池を入れ替えましたか。 ●電池を入れ替えるとリモコンの設定はリセットされます	●リモコンを操作して設定しなおしてください。

＊周囲温度により、あたたまる時間が異なることがあります。

仕様

形名		SCS-J500D
区分		温水洗浄便座　瞬間式
電源		交流 100V　50-60Hz 共用
定格消費電力		1267W
年間消費電力量（2012 年度基準）★		104kwh/ 年（152kwh/ 年）
省エネ基準達成率（2012 年度基準）★		129%
使用可能給水圧力		0.07 ～ 0.75MPa
使用可能給水温度		5 ～約 35℃
温水洗浄装置	おしり洗浄（L/ 分）	0.45 ～ 0.6
	ビデ洗浄（L/ 分）	0.45 ～ 0.6
	水勢調節	おしり、ビデ各 4 段階（空気混入）
	温度調節	4 段階調節（約 30℃～ 40℃）、およびヒーター「切」
	ノズル位置調節	5 段階調節
	温水ヒーター	1200W
	安全装置	サーモスイッチ（温度過昇防止器）、温度ヒューズ
	逆流防止装置	バキュームブレーカー、逆止弁
暖房便座装置	温度調節	4 段階調節（約 30℃～ 40℃）、およびヒーター「切」
	便座ヒーター	50W
	安全装置	温度ヒューズ
脱臭	脱臭フィルター	触媒脱臭
	脱臭風量	約 0.1m³/ 分
節電モード		モード 1、モード 2（タイマー節電）
そのほかの安全装置		漏電ブレーカー付プラグ
外形寸法		幅 429mm ×奥行 541mm ×高さ 144mm
本体質量		約 4.3kg
電源コード		長さ約 1.2m

※使用される環境条件により、変わることがあります。

★年間消費電力量測定基準：省エネ法に基づいて、湯沸かし方式などの種類別の算定式により、算出したものです。タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間（7.7 時間）で算出しています。タイマー節電機能を使用しない場合の消費電力量を（　）で表示しています。

抗菌加工部位：便座
試験機関　：㈶新潟県環境衛生研究所
試験方法　：フィルム密着法
試験結果　：抗菌効果あり 99.9%
試験番号　：第 200800745-001-MBA 号

抗菌加工部位：ノズル
試験機関　：㈶新潟県環境衛生研究所
試験方法　：フィルム密着法
試験結果　：抗菌効果あり 99.9%
試験番号　：第 200800099-001-MBA 号

銀イオンノズル洗浄水の除菌性
試験機関：（財）日本食品分析センター
試験方法：混釈平板培養法
除菌方法：ノズル洗浄水に銀イオンが溶出する。
試験結果：除菌効果あり 99.9%
試験番号：第 207102290-001 号

保証とアフターサービス　必ずお読みください

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。**

補修用性能部品の保有期間

- 温水洗浄便座の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 6 年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　出張修理

35 ～ 37 ページ「異常報知について」「故障かなと思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはジャニス工業㈱お客様相談係にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店またはジャニス工業㈱お客様相談係にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　　月　　日
	お買い上げ店名	電話（　　　）

長年ご使用の温水洗浄便座の点検をぜひ！

愛情点検

このような症状はありませんか。	●コンセントがガタついている。 ●水漏れがする。 ●焦げ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。 ●本体に触ると、ビリビリ電気を感じる。 ●ボタンを押しても動作しないときがある。 ●電源コード、プラグ、本体が異常に熱い。 ●そのほか、異常・故障がある。 お買い上げ日より 3 年以上たったものは、定期点検をおすすめします。 点検はジャニス工業㈱お客様相談係にご依頼ください。 （フリーダイヤル　0120-117-817）	▶ ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店またはジャニス工業㈱お客様相談係に点検、修理をご相談ください。